



9月ほけんだより



令和7年8月25日
はなほこども園

9月9日は救急の日です。乳幼児期は、転んだり、どこかぶついたり、いろいろなけがをしやすい時期です。子どものけがを防ぐには、けがにつながりそうな原因を取り除き、子どもに予防対策を伝えるなどが大切です。この機会に、救急蘇生法や救急セットの確認、また、けがをしてしまった時の応急手当など対処を覚えておきましょう。



《身近なけがの応急手当についておぼえましょう》



【切り傷・すり傷】

水道水で傷口の汚れをしっかりと洗います。清潔なガーゼを当てて圧迫し止血します。その後、ばんそうこうや包帯などで固定します。
※大きい傷や深い傷、腫れて痛みがある、傷口に異物が残っている場合は、受診しましょう。



【打撲】

手足の打撲は、タオルで冷やします。頭の出血は、傷口をガーゼで圧迫し安静にし受診します。
※たんこぶがある、意識がおかしい、嘔吐やけいれん、あざがある、肩で呼吸をして苦しそう、手足の変形や感覚がないなどの場合は、救急車を呼ぶなどし受診しましょう。

【やけど】

やけどをしたら、すぐに流水で20分間冷やします。服の上から熱湯などを浴びた場合は、着衣のまま流水で冷やします。
※やけどの大きさにかかわらず深い場合もあります。必ず受診しましょう。とびひにならないように注意しましょう。



#8000は、休日・夜間の急な子どもの症状にどう対処したらよいのか、判断に迷う時に、小児科医師・看護師から症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。また、ガイドブックも配付されています。

岩手県
令和5年2月1日（水）より
小児救急医療電話相談が
午後11時以降も対応します
お子さんの急な発熱やケガ

- ・夜間に電話で、こどもの病気、ケガや事故について相談できる窓口です。
- ・小児科勤務経験のある看護師がアドバイスします。

☎019-605-9000
または#8000

午後7時から翌朝8時まで
年中無休

午後7時から午後11時
こども救急相談電話
※県内の看護婦が応じます。

午後11時から翌朝8時まで
こども夜間ケアダイヤル
※医師の看護婦（コールセンター）が
応じます。

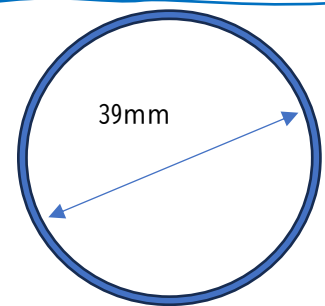
どうしたらよいかわからない時、すぐに受診
させた方がよいのか迷った時は#8000へ電話！

PHS・ダイヤル式回線電話・IP電話をご利用の方は019-605-9000へおかけください。



《家の中での誤飲に注意！》

直径39mmの円を通過するものは、子どもが誤飲してしまいます。ボタン電池の誤飲は、食道や胃をただれさせ、重傷事故につながります。複数の強力なネオジム磁石は、腸壁を挟んで穴を開けたり腸閉塞を引き起こしたりします。樹脂製の吸水ボールも腸閉塞の危険があります。また、たばこやお酒の誤飲もひどい中毒症状を起こすことがあります。子どもの手の届かない、見えないところに保管しましょう。



3歳のこどもが口を開けた時の大きさです。